

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第10週の発生動向

### トピックス

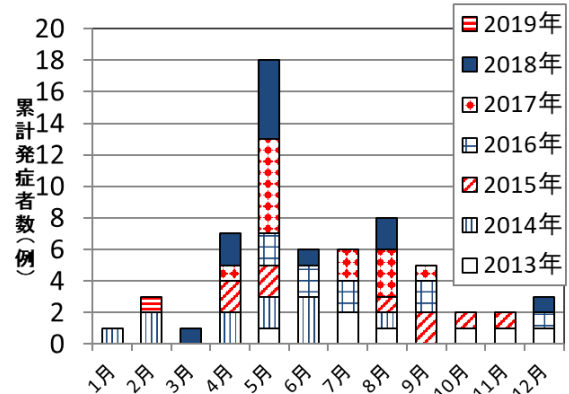
#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は70歳代男性で、発症は2月下旬である。ダニの刺し口は確認出来なかった。県内での報告は今年1例目で、累計62例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	2	14	22	15	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



### 全数報告の感染症 (10週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			90歳代	男	結核性胸膜炎	発熱、胸痛
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、頭痛、下痢
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	0~4歳	女	—	発熱、痙攣、菌血症
			40歳代	男	—	発熱、咳、倦怠感、食欲不振

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は885人(定点当たり21.6)で、前週比83%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

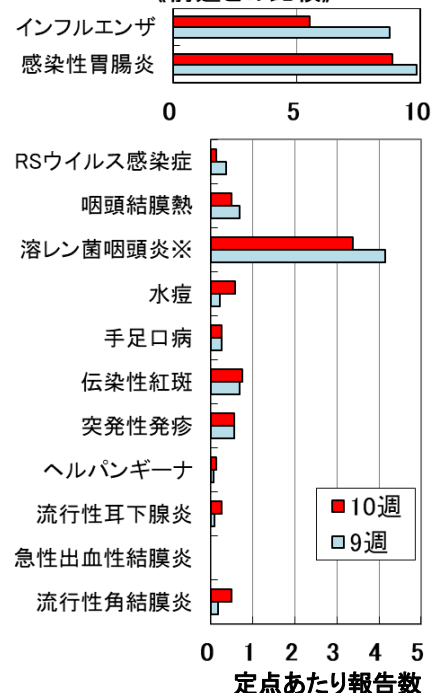
報告数は122人(3.4)で、前週比82%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(2.1)の約1.7倍である。高鍋(6.8)、延岡(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では3~6歳が全体の約7割を占めている。

##### 【感染性胃腸炎】

報告数は319人(8.9)で、前週比90%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(11.7)の約0.8倍である。小林(29.7)、日南(16.7)、都城(11.2)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~2歳が全体の約2割を占めている。

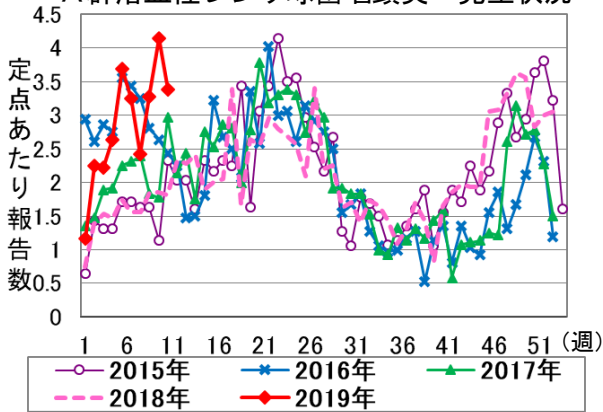
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

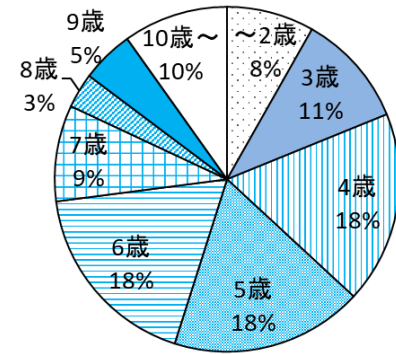


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

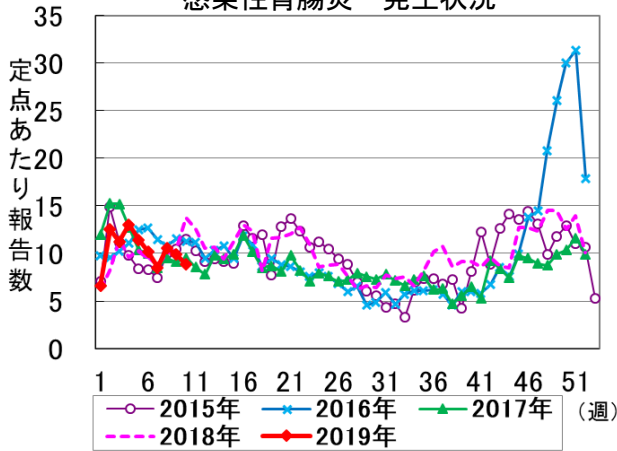
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



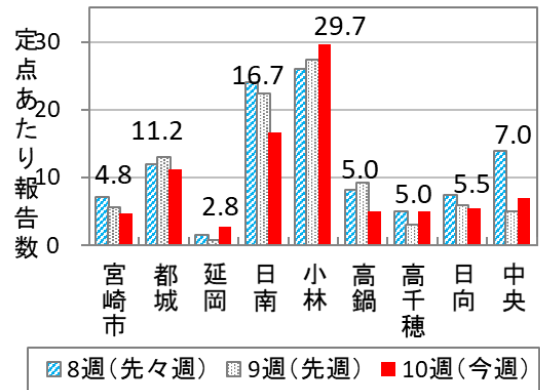
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢群別割合



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

日南保健所から1例報告があった。0~4歳で、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	水痘(1.3)
日南	伝染性紅斑(2.7)
小林	インフルエンザ(11.8),感染性胃腸炎(29.7)
高鍋	インフルエンザ(10.2)
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(7.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(2.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・水痘(1.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成31年3月11日までに検出)

★細菌

報告なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	女	2019.01.29	咽頭炎、38.8℃、上気道炎(咽頭炎)、咽頭痛	鼻汁	2019.03.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019.01.29	インフルエンザA型、39.5℃、頭痛、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	2019.03.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2019.02.05	インフルエンザA型、39.1℃、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2019.03.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019.02.07	インフルエンザA型、39.4℃、上気道炎(咽頭炎・咽頭痛)	鼻腔咽頭ぬぐい液	2019.03.06
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	女	2019.02.04	インフルエンザA型、39.5℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2019.03.06
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	女	2019.02.06	インフルエンザA型、39.3℃	鼻汁	2019.03.06
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2019.02.12	インフルエンザA型、39.9℃、頭痛、上気道炎	鼻汁	2019.03.06
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2019.02.13	インフルエンザA型、38.0℃	咽頭ぬぐい液	2019.03.06
ライノウイルス	0～4歳	男	2019.02.05	喘息様気管支炎、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2019.03.01
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2019.02.18	有熱性けいれん重積、39.7℃、熱性けいれん、意識障害	咽頭ぬぐい液	2019.03.04

○インフルエンザと診断された8名からインフルエンザウイルスが分離された。本県では今シーズン、AH3が17件、AH1pdm09が16件、B型(ビクトリア系統)が2件分離・検出されている。全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況をみると、AH3が最も多く、次いでAH1pdm09となっている。昨シーズンの主流であったB型(山形系統)の検出数は10件程度と少なく、本県においても、今シーズンに入ってから2019年3月12日現在までに、B型(山形系統)は検出されていない。

✚ 全国 2019 年第 9 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 9 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	352 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	22 例		
4類感染症	E 型肝炎	8 例	A 型肝炎	7 例	オウム病	3 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	7 例	レジオネラ症	18 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	7 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例	後天性免疫不全症候群	6 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	42 例
	水痘 (入院例)	6 例	梅毒	102 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	237 例	風しん	113 例
	麻しん	26 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 86%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

RSウイルス感染症の報告数は1,488人(0.47)で前週比107%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.34)の約1.4倍である。徳島県・山口県(各1.3)、高知県・奈良県(各1.2)からの報告が多く、年齢群別では0～2歳が全体の約8割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は18,843人(6.0)で前週比99%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値\*(6.2)の約1.0倍である。大分県(11.6)、山形県(10.2)、宮崎県(9.9)からの報告が多く、年齢群別では1～4歳が全体の約4割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は1,801人(0.57)で前週比97%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.21)の約2.7倍である。沖縄県(2.1)、石川県(1.7)、山形県(1.6)からの報告が多く、年齢群別では3～6歳が全体の約6割を占めている

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2019年2月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。また、昨年2月(1.8)の135%である。

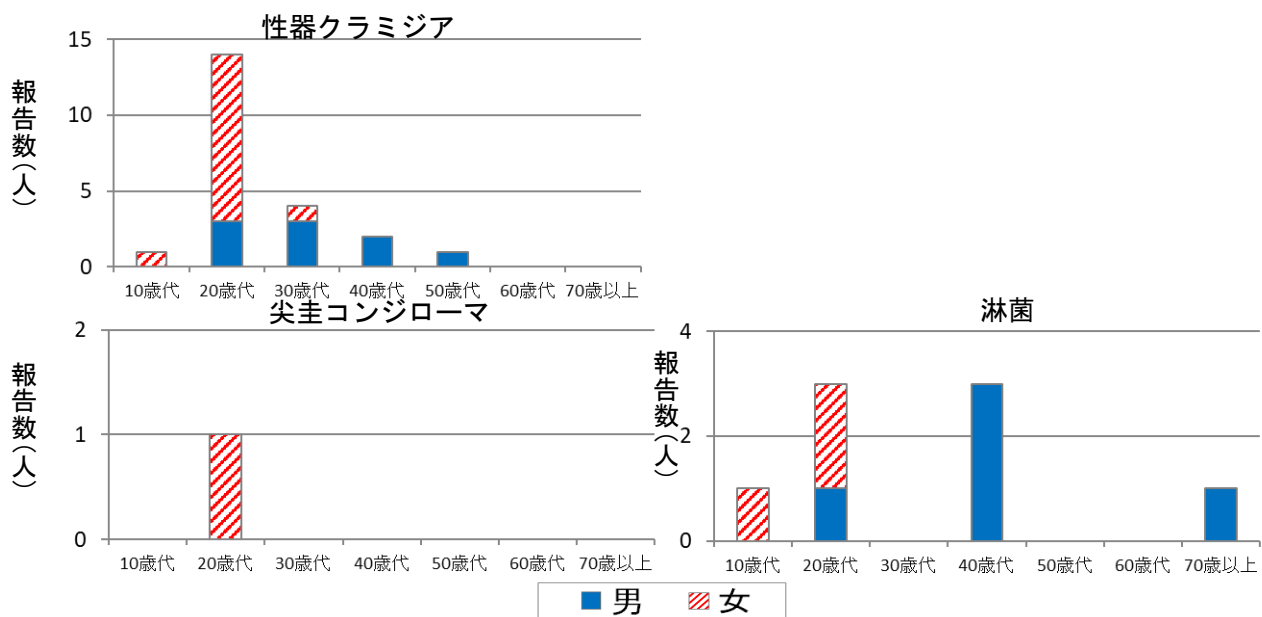
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の約1.5倍、昨年2月の約1.6倍である。  
20歳代が全体の約6割を占めている。(男性9人・女性13人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告なし。

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年2月と同率である。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約0.7倍、昨年2月の4倍である。(男性5人・女性3人)



【全国】 定点医療機関総数：984

定点医療機関からの報告総数は3,816人(3.9)で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,013人(2.1)で前月比93%、性器ヘルペスウイルス感染症755人(0.77)で前月比104%、尖圭コンジローマ432人(0.44)で前月比75%、淋菌感染症616人(0.63)で前月比83%である。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は10人(1.4)で、前月比71%と減少した。また、昨年2月(2.6)の56%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数10人(1.4)で、前月及び昨年2月の約0.7倍である。  
70歳以上が全体の約6割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：478

定点医療機関からの報告総数は1,411人(3.0)で、前月比89%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,256人(2.6)で前月比90%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症144人(0.30)で前月比81%、薬剤耐性緑膿菌感染症11人(0.02)で前月と同率である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第10週(03月04日～03月10日)

疾病名		第09週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	516	326	76	59	40	9	59	61	5	11	6
	定点あたり	8.75	5.53	4.75	5.90	5.71	1.80	11.80	10.17	2.50	1.83	3.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	5	2	2	1						
	定点あたり	0.36	0.14	0.20	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	25	18	5	3		3	1			6	
	定点あたり	0.69	0.50	0.50	0.50	0.00	1.00	0.33	0.00	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	149	122	36	12	24	13	6	27	1	3	
	定点あたり	4.14	3.39	3.60	2.00	6.00	4.33	2.00	6.75	1.00	0.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	355	319	48	67	11	50	89	20	5	22	7
	定点あたり	9.86	8.86	4.80	11.17	2.75	16.67	29.67	5.00	5.00	5.50	7.00
水痘	報告数	8	21	5	2	5	2					7
	定点あたり	0.22	0.58	0.50	0.33	1.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	7.00
手足口病	報告数	9	9		8							1
	定点あたり	0.25	0.25	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	25	27	11	2		8	5				1
	定点あたり	0.69	0.75	1.10	0.33	0.00	2.67	1.67	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	20	20	11	1	3		1	1		3	
	定点あたり	0.56	0.56	1.10	0.17	0.75	0.00	0.33	0.25	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	5	2		3						
	定点あたり	0.06	0.14	0.20	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	9	4		2	1		2			
	定点あたり	0.08	0.25	0.40	0.00	0.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	3	1		2						
	定点あたり	0.17	0.50	0.33	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	1				1					
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～10週)

2類感染症	結核	31例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1例(1)	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例(2)	梅毒	1例
	破傷風	1例	百日咳	53例		

( )内は今週届出分、再掲